



# 初中タイムス

令和2年度 第10号  
初島中学校学校通信  
R2、11、25  
発行者 出口雄三朗

## 「初島愛」を育てる(3)・・・

前回もご紹介しましたが、子どもたちが地元初島について深く知り、さらに愛着を持てるよう「ふるさと学習」を進めています。学んだことをまとめて、14日には授業参観(学習発表会)で発表しました。



## 「初島中の伝統」を伝える・・・(2)

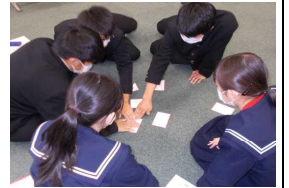
前号で中学生と小学生と一緒に「初島ソーラン」をつくりあげる「合同ソーラン」に取り組んでいることをお伝えしました。少ない時間ですが、小学生はもう既にかなり上手に踊ることができます。引き続き11月には3回の「合同ソーラン練習」を行いました。踊り方は覚えているので、今回はそれぞれの動きの意味を考えながら精度を上げました。何より素晴らしかったのは、中学生が動きを教える際の言葉です。具体的な言葉で、表現を工夫して伝えていて本当に感心しました。



## 「ことわざ・故事成語」カルタ・・・

子どもたちの言葉の力を高めることは初島中学校の目標の一つです。

普段なかなか使うことのないことわざや故事成語についても楽しみながら身に付けることを目指して、3年生は国語の時間に手作りの「ことわざ・故事成語」カルタに挑戦しました。みんな真剣に、でも楽しんで・・・盛り上がっていました。



## ビブリオバトルに出場しました。

有田市ビブリオバトル大会に南村隼己くん、則松拓弥くん、南村歩未さん、北村心結さんの4名が挑戦しました。国語の授業で取り組んだビブリオバトル。自分の紹介したい本を5分間で紹介し、いかに聞いている人に読みたい気にさせるかを競うのですが、それにはプレゼンテーション力が問われます。挑戦してくれた4名は日頃読んでいる本を、言葉を駆使して本当に上手にプレゼンしました。ナイスチャレンジでした！



## 「税についての作文」「税の標語」入選・・・すばらしいです！

本年度の「税についての作文」コンクールで、税の意義について書いた3年生の吉田空未さんの作品が入賞しました。また「税の標語」コンクールでは「僕のいる 楽しい暮らしに 税がある」という作品を書いた3年生の脇村太地くんが入賞しました。言葉の選び方や表現の仕方に工夫のある2人の作品・・・本当に素晴らしいです！

## (有)新人体育大会 卓球の部、ソフトテニスの部・・・頑張りました！

10月24・25日に卓球、ソフトテニスの有田地方新人大会が開かれました。テニスは決勝トーナメントに進みましたが、惜しくもあと一歩及びませんでした。卓球は第三位ということで県大会に出場が決まりました。とてもよく頑張った子どもたちの顔は晴れやかで満足そうで、輝いて見えました。

卓球部は7日(土)に白浜町で行われた(県)新人大会に出場しました。何れも各地方大会を勝ち抜いてきた強豪揃いの中、精一杯自分たちのプレーをしてきました。よく頑張りました！

## 「進路説明会」を開きました。

4日に本年度の進路説明会を行いました。入試日程や入試の方法について説明しました。和歌山工業高等専門学校には推薦入試、体験実習入試、学力検査の3つの入試形態があること、私立高校はインターネットによる出願が導入されていて1月中旬から受け付けが開始されること、公立高校は一般出願の後、もし受検希望の変更があれば本出願の際に変更が可能なこと、公立高校は、選考選抜基準がそれぞれの高校によって違うことなどについて説明しました。

進路決定にあたっては、受検する高校について考えるだけでなく、その先の将来について保護者と子どもがよく話し合い納得の上で決定することが大切なこと、困ったことや分からないことがあれば担任に相談して欲しいことなどについてお話ししました。

子どもたちの大切な進路について精一杯応援していきたいと思えます。

